

# 砂田(松商) 2冠

## 18歳以下単／山崎と複も

全日本ジュニアテニス

テニスの全日本ジュニア選手権最終日は30日

大阪市豊テニスセンターで行われ、女子18歳以下シングルスは砂田未樹(松商学園高)が決勝でルースも制し、2冠を達成した。

▽女子18歳以下シングルス決勝

高 <small>(松商)</small> 砂田	1	6	1
高 <small>(大阪・城)</small> 田	2	6	0
権	0	2	6

▽同ダブルス決勝

高 <small>(松商)</small> 砂田	3	6	1
高 <small>(松商)</small> 山崎	10	6	4
高 <small>(松商)</small> 田	4	4	6

小(昭和の森)高森  
ジュニアス  
クール  
長谷川  
ジュニア  
カデミー

(10点先取制のマッチタイブレークによる)



女子ダブルスで優勝した松商学園の砂田(左)と山崎のペア。砂田はシングルスも制した

### 強気を心がけた

山崎さくらの話 (決勝の) 第1セットは相手のストロークが速く、焦りがあった。サブトリターンを入れることを意識し、スパータイブレークでは強気を心がけた。試合中は「笑顔でやろう」と声をかけ合った。最高の結果が出せた。

### 練習成果出せた

砂田未樹の話 シングルスは相手が動いていなかったのでドロップショットを積極的に狙った。ダブルスは体力的に不安だったが練習の成果を出せた。スパータイブレークの試合が続いたが(ペアの)さくらが決めてくれた。チームのサポートがあつて優勝できた。